

# 卒業、修了



出産を終えられたお母さんからの感謝の言葉や、誕生した赤ちゃんのしぐさや、表情には癒され、勇気をもらいました。

## 大学生活を振り返って

農学部農業生産科学科

小平 健彦

僕にとっての大学生という四年間は、社会人になったというわけでもなく、かといって義務教育を受けるわけでもなく、なんとも不思議な期間だったと思います。一般に大学生活とは自分のやるべきこと、やりたいことは自分の力で探さなければならないと言われておりますが、僕の大学生活を振り返ってみるとその言葉どおりになっていたとは言い難いかもしれません。しかしながら、農学部、そして専門の大講座に入り、講義や調査実習そして卒論研究といういろいろな機会を経験することで、自分の力で学ぶべきものを探し出し、そして将来への目標を創り出すことができたように感じています。また、専門講座での二年間、様々な場面で迷惑をかけてきたと思いますが、それでもこんな僕を支えてくれた講座の先生方と友人達には心から感謝しています。僕も卒業し、実社会に出て行くわけですが、大学で経験したことは今後の人生の大きな糧となると信じております。お世話になった教員の皆様、本当にありがとうございました。



本人左から3番目

## 卒業にあたって

医療技術短期大学部専攻科

小田切 恵美

私が専攻科に入学してから、あっという間の1年が過ぎようとしています。1年間という、とても短い期間でしたが、非常に充実し、有意義な時間を過ごすことができました。特に、出産という女性の人生の中で、かけがえのない時間に立ち会えたことは、一生忘れられない経験になりました。出産を終えられたお母さんからの感謝の言葉や、誕生した赤ちゃんのしぐさや、表情には癒され、勇気をもらいました。また、分娩待機室で、友人と語り合ったことは、楽しい思い出となりました。

その他に、専攻科ではリプロダクティブ・ヘルツ/ライツを始め、女性の身近な健康の支援者としての勉強もしました。今後、多くの女性が、自分らしい生き方がで



前列向かって右から2人目

大学で経験したことは今後の人生の大きな糧となると信じております。



きるような、支援・活動をしていきたいと思えます。

最後にこの1年間を充実して過ごせたのも、病院のスタッフの皆様、先生、友人に支えていただいたからだと思います。この感謝の気持ちを忘れず、医療の現場で頑張っていきたいと思えます。

## 修了にあたって

大学院自然科学研究科情報・計算機工学専攻  
平林 和訓

新潟大学に入学してから6年の歳月が過ぎようとしている。大学院に入学したのが数カ月前ではないかと思うほど早く時が過ぎ去っていった。

大学院での2年間を振り返ってみると、入学前に思い巡らせていたことが実際には自分の努力不足もあり、考えていたように行動ができなかったように思う。今となつては、あの時もっと勉強をしておけばといったような後悔が数多く残り、自分の力のなさを痛感している。

しかし、次の活動の場で、この後悔をバネに飛躍できたのならそれだけでもここで学んだことが大きな意味を持ち、自らの糧となり2年間で学んだことは決して無駄ではなくなると思う。

このような私だがこうして無事に修了を迎えられたのも時に厳しく、時に優しく御指導下さった先生方、理解ある同期の院生、



また多くの友人たちに支えられてきたからだと思う。今後、後悔しないよう、できる限り最大限事に取り組み、納得のいく結果を出せるよう努力していきたいと思う。

## 20年の回帰

新潟大学現代社会文化研究科・日本社会文化論専攻  
松田 陽介

新潟大学医療技術短期大学部を卒業したのが20年前、愛知大学法学部を卒業したのが15年前、新潟大学法学研究科を修了したのが3年前、そして現在、現代社会文化研究科の修了となった。村上の鮭ならば5年もすれば立派な成魚となって帰ってくるのであるが、20年の歳月を経た私は、いまだ成長途上の幼魚のようなものである。

素晴らしい、先生方・諸先輩・学友・その他大勢の方々のご指導やご協力により、やっと学問という大海に泳ぎ出す準備と勇気が見えてきたという段階である。

今日、大学の制度改革や独立法人化という大波が大学にも押し寄せてきているようだ。しかしなが

ら、新潟大学の持つ特性や文化が継続されることを願いたい。なぜなら、広大な海を回遊して、回帰するときに母なる川が変質していたら、遡上してきた鮭達はふるさどが特定できなくなってしまうからである。

それでは、また回遊の旅に出ます。そしてまた回帰してきます。それまでさようなら。



新潟大学の持つ特性や文化が継続されることを願いたい。



あの時もっと勉強をしておけば、  
といったような後悔が数多く残り、  
自分の力のなさを痛感している。

